

1. 夜回り10月11日

ひさしぶりにさわやかな天候の夜回りになった。これまで自分はずっと春が季節の中で一番好きだと思っていた。しかし、花粉症に苦しめられる春よりも秋のこの季節が一番よいことを実感した。8時ちょっと前に到着。皆さんが次々に出発してゆく。一人分取り分けてあったカレーをかき込んでIさんと出発した。車中の話題はやはり息子のことに。この間母親へ電話してきた声は疲れ切っていたとのこと。こちらの午後2時はあちらの前日の真夜中12時。毎日タイヘンダ。もう寒いからもっと冬物衣類を送ってクレロ。トンカツをつくると好評だけど、アメリカはパン粉がないから送ってクレロ。ひさしぶりに日本語を話すとなんだか変な気分だなどと……生意気なことを云々。

風が気持ちよい。国際センターの裏ベンチ。いつもの通り睡眠中。顔も忘れてしまった。表のベンチでは、近づくると誰かが待っているのがわかる。Stさんだった。仕事が入って明日小山へ行くのだという。靴下とシャツの新しいのがないか、と言う。持っていないと言うと、がっかりした様子だった。どれくらい行くのですか？前は2年だったが、今度は3年はいたいな、と自信顔で話した。元気で無事であることを祈った。

西公園の旧図書館。Hnさんはお元気だった。Hさんからそのそばの鉄塔の裏に新しく一人いると聞いた。まわってみると、確かに一人仰向けになって被ったものから顔だけ出して寝ていた。雨でもないのに、寝ている周囲を囲むように開いた傘が7～8本置いてあった。この人の癖なのだろう。声をかけたが起きない。炊き出し案内とおむすび・ゆで卵だけ置いて離れた。ホームレスには人間関係のわずらわしさと縁を切って一人で生活している人も多い。次の陸橋下のOさんもそうである。炊き出しにも一度も来ない。コンバンハ、と声をかけると、中からハイと返事がした後、ビニールの入り口を開けながら、ここの電灯が明るくなってねと言った。市の係員がやって来てそばの電柱に点けていったのだそうである。話題は息子の話からたった今ラジオで聞いた話まで。日本人の15%が貧困にあえいでいる。10%が裕福なだけ。チョット見せたいものがあると中に入り紙袋に入った冷凍食品をごっそり持ってきた。これはゴミ箱から拾ったものだとか…。こういう話のときいつもOさんは自分の状況はカヤの外に置いていた。この人と話していると不思議な気分になることに、今回気づいた。会って話すのは月に一回のそれもわずか5分か10分なのに、昨日会ったばかりのような会話の気分が自然と流れていた。貴重な時間の経験だった。

もう一方の陸橋したハウスの住人Smさんは目を患っていた。症状を聞くと結膜炎の疑いがあった。市立病院で診てもらうことを勧めた。入れ替わりの激しい橋下ハウスからは新しい住人が一人だけ出て来て4人分受け取った。先月勘違いして小分けした分きょうは残りの味噌スープを鍋に勢いよく入れるぞ、と考えていたIさんは、スープは要りませんの一言に拍子ぬけした様子だった。思わず声を上げて笑ってしまった。

過去に約一年間続けた学校の炊き出しに失敗して苦しい思いをした事から、一人歩きや独自の炊き出しを家内からも禁じられているので、月に一度の正平協の活動への参加に頼っている。今後も小学校あげでの支援をはじめ、活動に心をかけてくださっている方たちに甘えながらも、継続させながら何ができるか見極めてゆきたい。

2. 炊き出し10月14日

Mと教え子が参加。

献品の記録 米10kg×1, 5kg×1, 1kg×1 海苔10枚×12 割り箸15 紙コップ・紙皿10 海苔の佃煮瓶 乾パン1 石鰯20 歯ブラシセット15 クシ5 ワイシャツ19 ポロシャツ3 セーター7 パスタオル6 タオル13 下着シャツ2 オーバー2 靴下5 女性用部屋着1 ジャージのズボン1

提供者 小学校保護者多数、高校職員3件

わざわざクリーニングに出したワイシャツなど、いつもながらたくさんのご奉仕をありがとうございます。

11月は11日が炊き出しになります。ホームレスは持ち歩きができずたいがい着捨てをしているので、これからの寒い時期はセーターやオーバー類が特にありがたいです。よろしくお願ひします。